

四季の庭・四季の道

子どもと一緒にたのしむ

春まき草花二種 キンレンカとフウセンカズラ

浅山 英一

どんな高価な植物でもそれが子どもたちにとって良い相手でなければ何の値打もありません。たねをまいて毎日見まもり、のびていく生命の力を知らず知らずの間に体得し、花が咲き実が成り、たねをとりまた来る時期に心を寄せることができれば子どもたちは幸せです。しかもその過程で共にあそぶこともできて、たのしく自然の恵みと不思議さを感じる相手をもたせたいものです。

草花の種類も多く性質もいろいろですが、共にたしめる、丈夫でおもしろい草花を選んでみました。ときが経ていつのことか幼いころの想い出の一駒となればすばらしいしごとだと思えます。

キンレンカ

キンレンカの花は花びらが五枚集まってラッパのような形で、萼がくが合体して尖った蜜袋（距という）

になっているので、横から見ると西欧の騎士がかぶっていたヘルメットのように見えます。葉はハスの葉に似た形で円形の盾のようです。

ヘルメットと盾をもっていれば戦に勝った兵士というわけでキンレンカの学名はトロローパーオルム (Tropeolum) とつけられています。これはギリシャ語のトロパイオン (tropaiōn) で戦勝者に

キンレンカ *Tropeolum majus*



与えられるトロファイーのことです。

日本の子どもたちには騎士の姿はあまり馴染がないようですが、ヨーロッパの子どもたちは小さなときから騎士の話をよく聞いていますから馴染深いサムライなのです。

花を一輪とって人指し指か中指にかぶせ指の腹に目鼻をつけるとサムライができます。指を曲げたり伸ばしたりすれば友だちどうして話し合えることができます。



水玉あそび キンレンカの葉に水滴を落してみると  
コロコロと玉になってころがりまわります。

これは水の表面張力によって球状となるのであつて、ある程度の大きさになると重さが加わって扁球形となつてころがり落ちます。

幾人かの子どもたちに葉を一枚ずつもたせて一定の水滴を落してもたせたら、用意ドンとかけ声をかけて五メートルほど離れた決勝点に出発させます。

水滴をこぼさないようにゴールインした子どもに、一・二・三と優勝を争わせるゲームは如何でしょう。水滴がこぼれてしまえば一等でも失格です。

この水玉あそびはたいして慎重に水滴をこぼさないように遅れた子が優勝します。

葉で日光写真あそび キンレンカの葉は日光にあたると活発な同化作用を営みます。

子どもたちにアルミペーパーを与えて思い思いの形の切り抜きをつくらせて朝のうちに一枚の葉に貼らせます。

日中はそのまま、夕方にその葉を集めて各自にアルミペーパーを剥がさせて回収します。見たところ何の変りもない緑色の葉ですから誰のものか判りませんが、これを集めて平鍋に入れてアルコールで煮沸したものをとり出します。緑だった葉はアルコールで葉緑素が無くなって黄色くなっています。

さて、この黄色くなった葉にヨードチンキを浸し

てみると、切り抜いたアルミペーパーの部分は変らない黄色ですがその他の部分は黒変して誰がどの切り抜きをしたかがよく判ります。

これはキンレンカの葉が日光にあたった部分は澱粉ができていたのでヨード反応があらわれるからです。

葉をアルコールで煮沸するのは危険ですから子どもたちには絶対やらせないで指導の先生がたにやっていたことを願います。

#### キンレンカの育てかた

キンレンカは南米のチリやペルー、コロンビアなどの高山地方原産の多年草ですから日本の夏の暑さには弱く枯れることもしばしばです。また厳しい寒さにも弱く凍ったら枯れてしまいます。

たねまきは四月中頃、発芽は一〇度C以上です。日当りと水はけのよい場所ですよく育ちます。鉢作りやプランターに一〇センチおきに二粒ずつたねをま

水玉をこぼさないように  
ヨードン



き、そのまま育てますが、用土は微塵をふるいすてた粗いものがよく細かい土は不首尾です。子どもたちには皮つきのたねを置いたら人指し指第一関節まで押し込ませます。

発芽後はよく日光にあて、水やりを控えめにすれば花も早く咲くようになります。水やりが多いと茎や葉はよく伸びますが花つきが遅くなります。

市販のたねは花が混合色のものが多く黄、紅、オ

レンジなどの花が咲きます。昔はつる性の種類が多く二、三メートルにも伸びましたから、垣根に植えたり支柱を立てて纏わらせたりしましたが、今の品種は殆どが矮性種です。

一般には五月末から花が咲きはじめますが、梅雨あけに暑さが強くなると成育は鈍ります。信州や東北地方など夜が冷える地方では夏も咲きつづけます。

温室やフレームがあれば早まきもでき、三月下旬から咲きはじめます。

たねとりはなるべく媒助した方がよくとれ、果実が熟して手でさわってポロリと落ちるようでしたらそのまま集めて乾かして貯蔵しておきます。

### お肉料理のツマに

キンレンカの若葉や茎を口にくわえて噛んでみるとなんとピリリとワサビの辛さがします。子どもたちは決して喜びませんが、そのまま口にいじると

ちに甘くなってきました。ナスタチウムという名は、西洋カラシのことですが、ヨーロッパの人たちはこれをお肉料理のツマとして口なおしに利用しています。

花も葉も無毒ですからお料理に添えてみるのも一興です。

### フウセンカズラ

風船のような実が成る三メートルほどにのびる性の多年草で、世界各国の熱帯地方に育つムクロシ科の雑草です。垣根にもよし、軒先から紐を吊し張ってまとわらせてもおもしろいので子どもたちにはぜひ取扱わせたいものの一つです。

鉢植えもできますが支柱が必要です。

### 育てかた

たねまきは四月、水はけと日当りのよい場所を選んで三〇、四〇センチおきに一、二粒じかまきしま



す。発芽して莖がのびはじめると間もなく細長い花柄が出ますがその基部は一对の巻ひげとなり他の物からみついでてのぼります。

花柄は枝分れして小さな白い花をつけますが見る価値はありません。しかしすぐに果実となつてふくらみ吊り下るようになります。

果実は三稜のある径二・五センチほどの扁球形で、中はカラッポですから指でつぶせばボンと音をたてて破れます。

これが面白いので子どもたちは熟さないうちに果実をつぶしましたが、これは厳禁です。

たねが熟せば緑色だった風船は茶色になつて枯れますがたねはそれで黒く熟しています。

たねでつくる三匹猿 フウセンカズラのたねは径四ミリでいど丸くてコロコロしていますが背面は真黒、腹は白くハート形をしています。一果に三個のたねができています。

手芸用のモールを用意して錐で孔をあけたところにモールを押しこみ、適宜に折り曲げて足と手をつくります。ボールペンでたねの白い部分に目鼻と額のしわを一、二本つけるとお猿そっくりの形になります。

この際一つは目をかくしている見ザル、一つは耳

を塞いだ聞かザル、一つは口を手でふさいでいる言  
わザルというわけで仲よく台紙に貼りつけると三匹  
ザルが出来上がります。



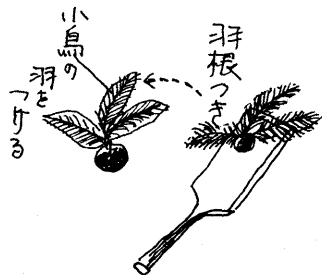
モールで手足をつけた三匹ザル  
尻尾はツケれば坐ります

羽根つきの羽 フウセンカズラはムクロジ科の植物  
です。ムクロジのたねは黒くて丸く羽子板で叩かれ

る羽根の玉にさ  
れるものです。

フウセンカズラ  
のたねは小さく  
て吹けば跳びそ  
うですが、それ  
でもカナリヤか  
ブンチョウなど  
小鳥の抜けた小  
さな羽を三〜五  
枚さしこめば小人の羽根つきには間に合いそうで  
す。

フウセンカズラは英名でバルーン・パインとも  
ハート・ピーとも呼ばれます。風船のような実が成  
るつる草の意味でもあり、ハート型の豆とはたねの  
ことを言うのを西欧の子どもたちはよく知っていま  
す。



(園芸研究家)